

山田町まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和4年度実施事業 効果検証結果

施策分野		重要業績評価指数 (KPI)								所管課の評価及び効果検証			来年度以降の方向性 (修正・改善など)	所管課	委員会の評価・意見等	
基本目標	基本的方向	項目	単位	現状値 (R01)	基準値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	参考:見込値 (R05)	目標値 (R07)	指標向上に向けて 実施した取り組み	評価	評価の理由			評価	意見等
【目標1 (しごと)】 資源を活かした魅力ある地域産業を創出する	地域資源を活かした産業の振興	正組合員一人当たり年間漁業生産額	千円	2,430	2,127	1,988	3,064	3,000	3,000	アワビやナマコの種苗放流経費や衛生機器等整備費に対する補助事業を実施した。	A	アワビ資源が減少している中、放流員が漁獲されており漁獲の下支えをしている。	ナマコの効率的な種苗放流方法の確立のための調査を行い、漁業者の所得向上につなげる。	水産商工課	A	非常に効果があった。 引き続き取り組みの推進に努めて頂きたい。
		新規出店店舗数 (R3~R7累計数) ※かっこ内は当該年度の実績。	件	0	3	2(2)	2(0)	2(0)	21	未利用店舗等活用支援事業による補助金の交付制度の周知に努めた。	D	実績がなかった。	事業の周知及び新たな支援策の検討が必要。	水産商工課	D	効果が少ないので改善が必要。 過年度の新規出店者から意見を聞く等、より効果を上げるための施策研究に努めて頂きたい。
	創業支援体制の構築	新規創業件数 (R3~R7累計数) ※かっこ内は当該年度の実績。	件	2	6	1(1)	2(1)	4(2)	25	やまだ創業サポート事業による補助金の交付を実施した。	C	事業開始時の費用軽減が図られ、新規創業を検討する事業者を後押ししている。	制度の内容や、実際に起業した事業者の実績などのPRを通じ、制度の活用を図る。	水産商工課	C	一定の効果があった。 引き続き取り組みを推進するとともに、過年度の新規創業者から意見を聞く等、より効果を上げるための施策研究に努めて頂きたい。
	地域産業を担う人材の確保・育成	新規漁業就業者数 (R3~R7累計数) ※かっこ内は当該年度の実績。	人	7	7	2(2)	6(4)	11(5)	20	豊かな浜の担い手育成支援事業による支援金交付や、山田町漁業就業者育成協議会に補助金を交付するなどの事業を実施した。	B	支援により就業の後押しになっていると考えられる。 漁家後継者の就業確保に寄与している。	漁業経営を開始、継続できる制度、施策の立案が必要。	水産商工課	B	相当程度の効果があった。 引き続き新規就業者の確保・育成に努めて頂きたい。
		新規農業就業者数 (R3~R7累計数) ※かっこ内は当該年度の実績。	人	0	0	1(1)	3(2)	5(2)	2	新規就農者研修受入支援事業により、研修を受け入れる農家に対し、研修費用の一部を助成し、農業を始めやすい環境を継続した。	A	取組の成果が出ており、目標達成に向けて順調に推移している。	現在の取組を継続する。	農林課	A	非常に効果があった。 引き続き新規就業者の確保・育成に努めて頂きたい。
		インターンシップ新規実施企業数	社	19	19	19	18	18	20	新卒者ふるさと就職促進事業を実施し、町内新卒者を雇用した企業に補助金を交付した。	C	補助金を交付することにより、新卒者の雇用を企業が積極的にを行うことを後押ししている。	新卒者を含め若者が就職しやすい環境づくりを、ハローワークを初め、関係団体と協議し推進していく。	水産商工課	B	相当程度の効果があった。 引き続き取り組みの推進に努めて頂きたい。

山田町まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和4年度実施事業 効果検証結果

施策分野		重要業績評価指数 (KPI)								所管課の評価及び効果検証			来年度以降の方向性 (修正・改善など)	所管課	委員会の評価・意見等	
基本目標	基本的方向	項目	単位	現状値 (R01)	基準値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	参考:見込値 (R05)	目標値 (R07)	指標向上に向けて 実施した取り組み	評価	評価の理由			評価	意見等
【目標2 (ひと)】 新しいひとの 流れを創造する	関係人口・交 流人口の創 出・拡大	SNSフォロワー件数	件	1,700	-	3,480	4,618	5,300	3,000	メルカリShopsにて町の不用となった物品を販売しており、その情報もtwitterで発信している。また、移住ガイドブックにSNS情報を掲載し、更新回数を増やした。	A	着実にフォロワー件数が増えている。	更新回数を増やし、フォロワーの獲得に努める。	総務課 農林課 政策企画課	A	非常に効果があった。 今後も積極的な情報発信に努めて頂きたい。
		ふるさと納税件数	件	2,770	10,768	16,611	20,323	20,000	15,000	国の基準が変わったことにより、対象外となる返礼品もあったが、返礼品の見直しや掘り起こし等を実施し、返礼品数が増えるよう取り組んだ。	A	目標値を達成し、ふるさと納税を通じて本町の認知度が上がっていると考えられる。	ふるさと納税による寄付額は、他市町村も増えており、今後は本町独自の返礼品開発やPRが必要になってくる。	水産商工課	A	非常に効果があった。 引き続き取り組みを推進するとともに、新たな返礼品の開発とPR強化に努めて頂きたい。
		体験型観光体験者数	人	2,700	1,875	2,312	3,030	3,000	3,400	北東北での観光キャンペーンに、体験観光事業を登録し、周知及び誘客に努めた。また、首都圏や仙台市等でPR活動を実施した。	B	目標値には達しなかったが、前年度を大きく上回る数値を残すことができた。	新型コロナウイルスが5類になったことから、県外でのPR活動に積極的に取り組み、観光誘客を図る。	水産商工課	B	相当程度の効果があった。 引き続き取り組みを推進するとともに、新たな体験事業メニューの開発に努めて頂きたい。
	移住定住の促進	町事業による移住者数 (R3~R7累計数) ※かっこ内は当該年度の実績。	人	0	8	15(15)	47(32)	57(10)	20	移住コーディネーターによる相談対応、住まいや仕事の補助、SNSや県外イベントでのPRなどの取組を行った。	A	移住促進住宅取得や奨学金返還に係る補助金を新設したほか、移住者や相談件数も増加傾向にある。	様々な移住イベントでのPR活動や地域おこし協力隊員の増員のほか、移住者を呼び込む新たな取組として移住者交流会を定期開催する。	政策企画課	A	非常に効果があった。 引き続き取り組みの推進に努めて頂きたい。
		移住お試し住宅利用件数 (R3~R7累計数) ※かっこ内は当該年度の実績。	件	-	1	2(2)	3(1)	9(6)	25	移住イベント等で利用促進した。	C	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が少なかった。	イベント等でPRする他、移住体験ツアーや移住者交流会においてPRする。	政策企画課	C	一定の効果があった。 新型コロナウイルス感染症の影響により効果が少なかったと考える。 引き続き取り組みの推進に努めて頂きたい。

施策分野		重要業績評価指数 (KPI)								所管課の評価及び効果検証			来年度以降の方向性 (修正・改善など)	所管課	委員会の評価・意見等	
基本目標	基本的方向	項目	単位	現状値 (R01)	基準値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	参考:見込値 (R05)	目標値 (R07)	指標向上に向けて 実施した取り組み	評価	評価の理由			評価	意見等
【目標3 (ひと)】 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる	結婚・出産・子育てまでの切れ目のない支援	助産師なんでも相談件数	件	425	374	268	291	300	500	窓口やガイドブック、ホームページ等での周知を図り、気軽に誰もが相談できる環境づくりを行った。	B	助産師2名により、より専門的な相談支援を実施することができた。	継続して周知を図る。(令和3年度より産後ケアに係る相談については、相談件数より除外)	健康子ども課	B	相当程度の効果があった。 引き続き取り組みの推進に努めて頂きたい。
		産後ケア利用率	%	48.6	61.0	68.1	70.5	69.0	80.0	出生届時や新生児訪問等で周知し、利用率の向上に努めた。また、特に支援が必要な産婦には、次回の予約を取りながら継続的に支援を実施した。	B	産後の母子の身体的な支援だけでなく、精神的面でも支援をすることができた。	継続して周知を図る。	健康子ども課	B	相当程度の効果があった。 引き続き取り組みの推進に努めて頂きたい。
		子育てサロン平均利用者数	人	15	16	11	17	15	20	広報やブログ、乳児健診等で周知を図り、特に支援が必要な母子にも利用を促した。	B	子どもや保護者間の交流、リフレッシュの場として好評であり、利用が増加した。	継続して周知を図る。	健康子ども課	B	相当程度の効果があった。 引き続き取り組みの推進に努めて頂きたい。
	教育環境の整備	学校生活満足度	%	90.0	89.8	83.7	85.7	87.7	92.0	「やまだの学び」で示す指標をもとに、子どもの居心地の良い環境づくりや絆づくりに努めた。	B	児童生徒を対象とした生活実態調査において、肯定の割合が前年度よりも増加した。	現在の取組に加え、hy-QUの分析・活用等についても併せて推進していく。	学校教育課	B	相当程度の効果があった。 引き続き取り組みの推進に努めて頂きたい。
		英検3級取得率	%	17.0	22.0	17.2	23.9	18.9	23.7	課題を明確にし、定着に向けた継続的な学習に努め、向上に繋がった。	A	CAN-DOリストを活用し、課題を明確にすることで、意欲的に取り組んだ。	目標値の達成に向けて、検証や改善を繰り返しながら確かな学力に繋げるように努める。	学校教育課	A	非常に効果があった。 引き続き取り組みの推進に努めて頂きたい。
		運動能力の向上	%	49.0	-	38.2	33.2	33.8	55.0	岩手県が推進する60(ロクマル)プロジェクトに取り組むことで、児童生徒の健康保持に努めた。	C	体カテストの総合評価におけるB判定以上の割合が小学校、中学校ともに減少した。	今後も継続して、60プロジェクトに取り組むとともに、小中学校と協力し、運動時間の確保に努める。	学校教育課	C	一定の効果があった。 引き続き取り組みの推進に努めるとともに、定期的に運動に取り組める環境づくりに努めて頂きたい。

山田町まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和4年度実施事業 効果検証結果

施策分野		重要業績評価指数（KPI）								所管課の評価及び効果検証			来年度以降の方向性 （修正・改善など）	所管課	委員会の評価・意見等	
基本目標	基本的方向	項目	単位	現状値 (R01)	基準値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	参考:見込値 (R05)	目標値 (R07)	指標向上に向けて 実施した取り組み	評価	評価の理由			評価	意見等
【目標4 (まち)】 誰もが安心して暮らすこと ができる魅力的な地域をつくる	安全・安心な暮らしの確保	交通事故発生件数	件	7	10	8	9	9	0	交通指導員による啓発活動及び交通指導に努めた。	C	事故発生件数は前年度より増えたが、令和4年10月27日に交通死亡事故ゼロ1年間を達成した。	交通指導員の増員に努め、より一層の啓発活動及び交通指導の充実を図る。	町民課	C	一定の効果があった。 死亡事故ゼロは評価できる。引き続き取り組みの推進に努めて頂きたい。
		消防水利の充足率	%	84.0	85.1	86.4	87.8	88.2	90.0	総合計画に基づく消防整備事業により消火栓、耐震性貯水槽を計画的に設置した。	B	有利な補助事業等を活用し整備を図った。	今後も補助事業を利用し継続的に事業を推進する。	消防防災課	B	相当程度の効果があった。 引き続き取り組みの推進に努めて頂きたい。
	公共交通の利便性の確保	山田地区以外の交通空白行政区の割合	%	17.6	17.6	0	0	0	0	交通空白地へコミュニティバスの運行をしている他、豊間根地区においてはデマンドタクシーの実証運行の取り組みをした。	A	利用促進を図るため高齢者、免許返納者の運賃割引を開始した。	地域公共交通計画を踏まえながら、路線やダイヤの編成を行い、利便向上、利用促進を図る。	政策企画課	A	非常に効果があった。 引き続き取り組みの推進に努めるとともに、町民の意見を取り入れながら利便性の向上に努めて頂きたい。
		生涯学習関連講座受講者数	人	585	540	488	650	600	600	大人から子どもまで幅広い年齢層が参加できる生涯学習講座を各地区集会施設にて実施した。	A	新たに子ども向け生涯学習講座を実施し子どもとその親（中間層）に広く参加いただいたことで、参加者数の増加に繋げることができた。	効果的な企画の立案や町民への周知を図り、引き続き幅広い年齢層が興味を持って参加できる学習機会を提供する。	生涯学習課	A	非常に効果があった。 引き続き取り組みの推進に努めるとともに、新たな企画を立案し、受講者数の確保に努めて頂きたい。
	健康・生きがいづくりの支援	社会体育施設使用団体数	団体	67	108	112	80	90	70	各種スポーツ教室や大会の開催を通じて、スポーツに取り組む楽しさを広く周知した。	A	目標値を上回る施設使用団体数があった。	利用者が安心して安全にスポーツを楽しむことができるよう、施設を維持管理する。	生涯学習課	A	非常に効果があった。 引き続き取り組みの推進に努めて頂きたい。
		各種がん検診平均受診率	%	15.8	13.3	16.4	18.5	12.7	25.0	がん検診を過去3年間未受診であった方に対して、個別に受診勧奨を実施し、受診率の向上に努めた。	C	目標値には程遠いが、受診勧奨を行うことで肺がん検診受診者と大腸がん検診受診者が増加し、各種がん検診平均受診率が向上した。	継続して周知を図る。	健康子ども課	C	一定の効果があった。 引き続き取り組みの推進に努めて頂きたい。